

DIA
EARL STONE
NATURAL STONE FEELING

天然石調厚付け仕上塗材 F☆☆☆☆

ダイヤアールストーン

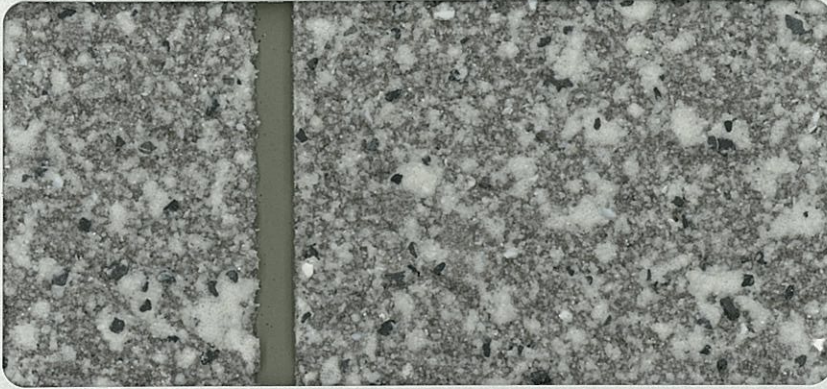
W工法:2色吹き



株式会社 **ダイフレックス**

ダイヤアールストーン W工法:2色吹き

一段目地仕上げ



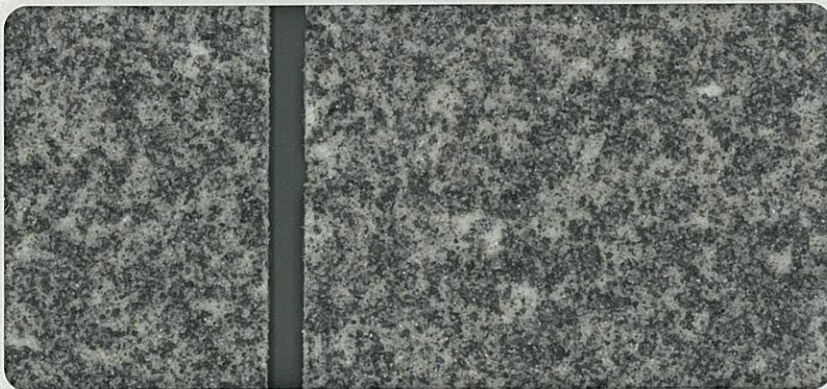
↑ W-365 (A色:A-1/B色:A-3) 目地色: グレー

二段目地仕上げ



↑ W-377 (A色:A-45/B色:A-31) 目地色: モスグリーン

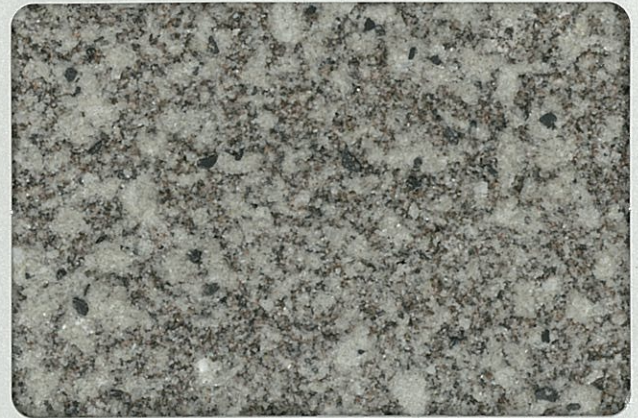
一段目地仕上げ



↑ W-375 (A色:A-26/B色:A-28) 目地色: ブラック



↑ W-363 (A色:A-17/B色:A-19)



↑ W-374 (A色:A-22/B色:A-24)

目地色



ライトグレー



グレー



モスグリーン



ブラック

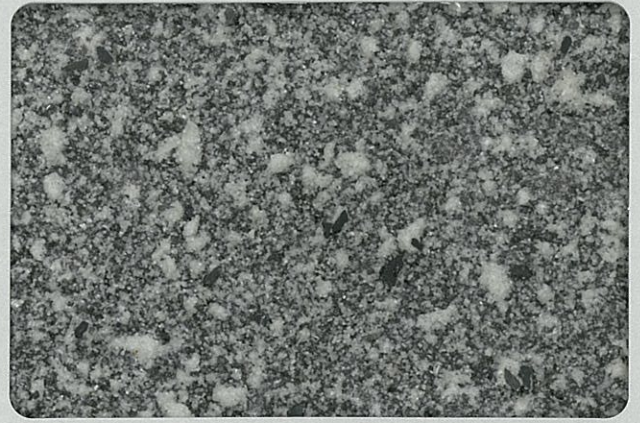
色番号

工法	標準色	使用材料名(色名)	
		A色	B色
W工法	W-360	A-33	A-18
	W-361	A-18	A-34
	W-362	A-47	A-49
	W-363	A-17	A-19
	W-364	A-46	A-50
	W-365	A-1	A-3
	W-371	A-11	A-2
	W-372	A-5	A-31
	W-373	A-7	A-9
	W-374	A-22	A-24
	W-375	A-26	A-28
	W-376	A-40	A-43
	W-377	A-45	A-31

(備考) ※W工法のもどし吹きに使用する材料名はA色ですので
ご注意ください。



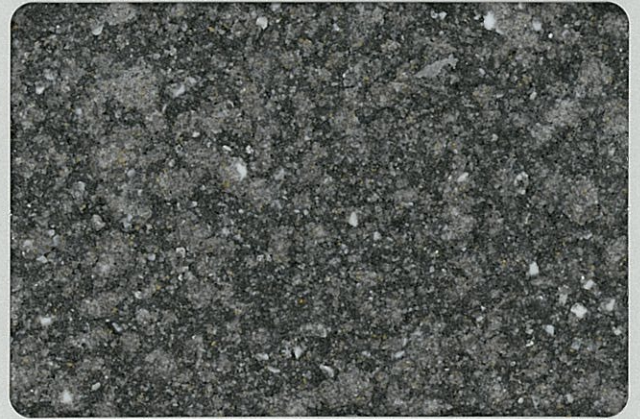
↑ W-371 (A色:A-11/B色:A-2)



↑ W-372 (A色:A-5/B色:A-31)



↑ W-373 (A色:A-7/B色:A-9)



↑ W-364 (A色:A-46/B色:A-50)



↑ W-376 (A色:A-40/B色:A-43)



↑ W-362 (A色:A-47/B色:A-49)



↑ W-360 (A色:A-33/B色:A-18)



↑ W-361 (A色:A-18/B色:A-34)

※有色骨材による色調のため、見本と実際の仕上がり色とは多少異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
※ご注文の際は、色番号と () 中の組み合わせ番号をお知らせください。

ダイヤールストーン W工法:2色吹き

■ 施工工程表(目地なし)

工程	材料	調割合	所要量	塗回数	間隔時間		施工用具
					工程内	工程間	
下地調整	コンクリート、モルタルは十分に乾燥(含水率10%、pH10以下)する。レイトランス、エプロ、油、ほこり等を除去し、豆板、欠け、不陸、目違いはダイヤセメントフィラーで平滑に補修する。吸込み差がある場合は下地調整材(ダイヤセメントフィラー、ダイヤフィラーまたはセメンジャス#2000)を全面に塗布し吸い込みを均一にする。						
1	ダイヤ目地用下塗材	20kg	0.6~0.8kg/m ²	1	—	5時間以上	ジュラクガン 口径5~6mm
	清水	1~2リットル					
2	ダイヤールストーン主材	20kg	3.0~4.0kg/m ²	1	—	15分以内	ストーンガンW 口径8mm
	清水	0.8~1.2リットル					
3	ダイヤールストーン主材	20kg	1.0~1.5kg/m ²	1	—	16時間以上	タイルガン 口径6.5mm
	清水	0.5~1.0リットル					
4	ダイヤールストーン 仕上材	A液(基材) 15kg B液(硬化剤) 0.7kg	0.3~0.4kg/m ²	2	2時間以上 24時間以内	—	エアレス
	ダイヤールストーン 仕上材用シンナー	4~6リットル					

※間隔時間は標準状態(23℃、50%RH)での時間を示します。 ※下地調整が必要な場合の積算は、下地調整費を別途加算してください。

※一段目地、二段目地仕上げ工法などの施工について、詳しくは別途標準施工仕様書を参照してください。 ※オプション仕様として艶有り仕上げ、ピブッシュンリコン艶消しクリヤー仕上げができます。

■ 使用材料早見換算表

W工法	一段目地	A	一段目			二段目			所要量(kg)	100m ² の場合		300m ² の場合		比率
			下吹	ちらし吹	上吹(もどし吹)	下吹	ちらし吹	もどし吹		所要量(kg)	缶数	所要量(kg)	缶数	
			1.0~1.25	0.5~0.75	1.0~1.5									
W工法	一段目地	A	1.0~1.25	0.5~0.75	1.0~1.5				2.5~3.5	250~350	13~18	750~1,050	38~53	5
		B	1.0~1.25	0.5~0.75					1.5~2.0	150~200	8~10	450~600	23~30	3
	二段目地	A	1.0~1.25	0.5~0.75	1.0~1.5	1.0~1.25	0.5~0.75	1.0~1.5	5.0~7.0	500~700	25~35	1,500~2,100	75~105	5
		B	1.0~1.25	0.5~0.75		1.0~1.25	0.5~0.75		3.0~4.0	300~400	15~20	900~1,200	45~60	3

(備考) ※目地無しの所要量は一段目地所要量に準じます。 ※色別使用材料内分の比率は下限所要量を基準に算定しています。 ※所要量に対する缶数は、端数を切り上げ算定しています。

■ 包装単位

材料名	包装単位	
ダイヤ目地用下塗材	20kg缶	
ダイヤールストーン主材	20kg缶	
ダイヤールストーン仕上材	A液(基材)	15kg缶
	B液(硬化剤)	0.7kg缶
ダイヤールストーン仕上材用シンナー	16リットル缶	
目地棒(2mm厚)	5mm幅×1m	100本包装
	7mm幅×1m	
	10mm幅×1m	
	15mm幅×1m	

《安全衛生上の注意》

1. 取扱いは、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防護マスク、保護メガネ、保護手袋を着用して下さい。
2. 取扱い後は、手洗い及びうがいを充分に行ってください。
3. 子供の手の届かない所に保管して下さい。
4. 作業中・作業後は充分換気を行ってください。
5. 容器からこぼれた場合には、砂等を散布した後処理して下さい。
6. 目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
7. 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
8. 皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けて下さい。
9. 臭い、蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の判断を受けて下さい。
10. 中身を使い切った後から廃棄して下さい。
11. 廃塗材、廃容器、洗浄水等は、産業廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。

安全にご使用いただくためのお願い

この見本帳に記載の商品を取り扱う際には、各商品の容器に表示されている注意事項をよく守ってください。また、詳細な内容が必要な場合には、製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。

この見本帳に記載の商品は、予告なしに仕様や取り扱いを変更することがあります。この見本帳の使用有効期限は、2015年6月までですのでそれ以降のご使用はさけて下さい。

《施工・管理上の注意》

1. セメント質下地は、表面の含水率が10%以下(pH10以下)になるまで放置して下さい。コンクリート下地は夏期で2週間、冬期で3週間、モルタル下地は夏期で1週間、冬期で2週間以上乾燥が必要です。
2. 材料が付着乾燥しと取れませんが、塗布面周辺の養生を完全に行い、施工時建物の周辺に飛散しないようにして下さい。養生テープは塗膜厚を考慮して、強度の高いものを使用して下さい。
3. コンプレッサーは必要十分な能力以上のものをご使用下さい。
4. 下地は十分に乾燥してから施工して下さい。乾燥不十分の場合、色ムラ、剥離等の生じの原因となります。
5. 金属下地及び釘頭などの上に施工する場合は、必ず防錆処理を行ってください。
6. 施工にあたっては同一ロット、同一方法で、入り隅、出隅等見切りの良いところで仕上げして下さい。同一壁面途中での塗り継ぎは色違いやムラの原因となります。
7. 気温5℃以下、湿度85%以上または降雨、降雪、強風の場合は施工を避けて下さい。白化や色ムラが発生し、壁面に残る場合があります。また作業後に、降雨、降雪の恐れがある時は雨(雪)養生をして下さい。なお、夜間の気温が氷点下になる恐れがある場合は、午後3時頃までに作業を打ち切るようにして下さい。
8. 施工後24時間以内の降雨、常に結露が発生する地域・時期での施工は避けて下さい。結露等の影響で白化や色ムラが発生し、壁面に残る場合があります。
9. 冬期・低温時の施工で水系下塗材(シーラー)を用いた場合、乾燥が遅くなるため仕上がりにムラを生じる事があります。状況に応じて溶剤系下塗材(シーラー)を使用して下さい。
10. 常に結露が発生する地域・時期での施工は避けて下さい。
11. 仕上材(トップコート)の施工にはリジンを必ず、必ずエアースプレーガン、等を使用して下さい。
12. 2液反応硬化形溶剤系仕上材の仕上材を使用する場合には、可成り時間中に使い切る量で混合、使用して下さい。
13. 工程間隔時間は充分取って下さい。
14. 特に溶剤系塗料は、消防法及び危険物取締条例等関係法令に準拠し、防火、消火、安全衛生等に備えるとともに正しい使用により施工して下さい。
15. 安全衛生上の注意事項については、容器の表示も合わせてご参照下さい。
16. 材料の保管は気温5~35℃で、密封のまま直射日光を避け、屋内に貯蔵して下さい。長時間貯蔵したものは十分攪拌し、窒素の有無を確認して下さい。
17. シーリング材の上に施工する場合は、シーリング材の種類、材質によってひび割れや汚染する場合があります。
18. 改修工事の場合は、別途ご相談ください。
19. 大面積の場合、設計段階で許される範囲内で、できるだけ目地を設けるようにして下さい。
20. 大面積の場合、躯体目地を利用して下さい。躯体目地に沿ってテープ養生し、1スパン毎に仕上げして下さい。隣接する仕上がり面に施工しないように、アデ板養生は逆養生を行ってください。
21. 大面積の場合、テープ等により、目地を設けて下さい。水平及び垂直にテープ等を貼り付けて、目地を設けた後、逆養生してすべて施工して下さい。
22. 本施工に入る前に試験吹きを行い、吹き付けのタイミング、粘度、塗布量などをチェックし、仕上がりがムラにならないよう確認して下さい。
23. 下吹きは、下地が均一に隠れるように吹付ます。この際、材料を吹き過ぎて流れないようにして下さい。
24. 上吹きは仕上げ吹きですから、山立ちをそろえながらムラなく塗り吹きし、やや厚めに吹き付けて下さい。
25. 上吹き材の薄め過ぎ、圧力の上げ過ぎ等は粗目の骨材ののらない原因となります。
26. 有色骨材による色調のため、見本と実際の仕上がり色とは多少異なる場合があります。
27. その他施工仕様については、別途施工仕様書をご参照下さい。
28. 材料は使用前に、電動ミキサー等で十分に攪拌して下さい。



株式会社 ダイフレックス

DYFLEX

取扱店

〒163-0825 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル

☎ (03) 5322-7020 FAX. (03) 5322-7021

URL <http://www.dia-dyflex.jp>

※ 全国の最寄りの支店・営業所をご案内致します。お気軽にお問い合わせ下さい。